



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社クスリのアオキホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 青木 宏憲
(コード番号 3549 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取締役管理部門担当 八幡 亮一
(T E L 076-274-6115)

当社株主（オアシス）による開示資料に対する当社取締役会の見解

当社株主である OASIS FUNDAMENTAL VALUE II (HONG KONG) LTD. の運用会社である Oasis Management Company Ltd.（これらを総称して以下、「オアシス」といいます。）が 2026 年 7 月 29 日（日本時間）付で Web サイト上に公表した、当社に関する開示資料「アオキを守るために」（以下、「オアシス開示資料」といいます。）について、株主をはじめとするステークホルダーの皆様に誤解を生じさせる可能性のある記載が多数認められました。そこで、当社取締役会は、臨時取締役会において、オアシス開示資料に対する見解を決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

オアシス開示資料において、取締役会議事録の内容が引用されておりますが、一般的に、取締役会議事録には会社の重要な秘密情報が記載されていることがあります。株主が、権利行使に必要な範囲内で閲覧又は謄写することは認められているものの、当該閲覧又は謄写を受けた株主が、不特定の第三者に対して開示することは認められておらず、取締役会議事録の内容の引用は不適切であると考えております。

また、オアシスは、訴訟が継続している最中であるにもかかわらず、外部専門機関が作成したデータを無断で公開しておりますが、一連の主張はデータを公開しなくても十分行えるものですので、これを開示する行為も不適切であると考えております。

その他、オアシス開示資料には、市場区分変更について強硬的に採決を行ったとの主張や、市場区分変更賛成しなかった取締役を事実上追放し、独立性のない社外取締役を候補として上程した等の主張もありますが、これらの主張には根拠がなく、一方的な憶測に過ぎません。

市場区分変更の議案に限らず、当社では、取締役会への付議事項につきましては、各役員から示された意見も踏まえ、取締役会にて協議した上で、決議を行っております。また、取締役の選任につきましても、当社の経営環境、経営方針や各役員の状況等を踏まえて、当社にとって企業価値を最大化し得る取締役の陣営を検討するのは当然のことであり、2025 年 12 月 25 日に公表した「[新中期経営計画](#)」の達成に向けて、今後必要となる人材を検討した結果、今回の新任取締役候補者を上程しております。

オアシス開示資料に記載された当社に対する数々の主張には根拠がなく、一方的な憶測を述べたものに過ぎないと考えております。

当社は、今後も、上場企業として透明性の高い企業運営とコーポレートガバナンスの徹底を図るとともに、事業活動の持続的な成長を通じて、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

以上